

男女共同参画センター

りいぶる

～男女共同参画社会づくり～



波に恋したじかん

写真提供：橋爪喜代さん（りいぶる人材養成講座修了生）

CONTENTS

- ①② 特集「海を舞台にキャリアデザイン」
- ③④ 年間スケジュール／募集要項
- ⑤⑥ 講座ればおと
- ⑦ eかんばんに自己紹介／参画課いんぷおめーしょん

“りいぶる”相談室から ～あなたはあなたのままで～

“りいぶる”では、女性が抱える様々な悩みを受けとめ、自分らしく生きるためのサポートをしています。

まずはどんなことでもお電話ください。

相談専用電話 073-435-5246

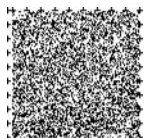
◆総合相談 毎週火～土曜日 [面接相談] 9:00～17:30 [要予約]
[電話相談] 9:00～20:30
日曜日 [面接相談] 9:00～16:00 [要予約]
[電話相談] 9:00～17:00

◆女性のためのカウンセリング

毎月第1～4金曜日 13:00～16:40 [要予約]

◆女性のための法律相談 月3回 13:00～16:10 [要予約]

◆女性のためのチャレンジ相談 毎月25日 14:00～16:15
(10月のみ26日) [要予約]



この冊子には、音声コードが、各ページ下に印刷されています。

特集 『海を舞台にキャリアデザイン』

今年度、和歌山県では新規採用の女性職員の割合が3割を超えました。女性職員の全体比率は男性職員よりも低いのですが、女性がその能力を発揮する場（場面）は年々広がってきています。

そこで今号では、「海の日」にちなみ和歌山県の水産業の現場で、活躍している女性職員（研究職・航海士）にスポットをあて、お話を聞きました。



水産試験場 副主査研究員 ごしょ とよほ 御所 豊穂 さん

プロフィール

出身地 大阪府
2001年 和歌山県庁に水産の研究員として入庁
2010年 水産試験場（串本町）で副主査研究員として勤務

水産の研究員になった動機

子供の頃から海が大好きで、魚釣りやマリンレジャーを楽しんで過ごしました。大学でも魚の研究をし、就職も水産業に携わりたいと水産資源が豊富な和歌山県に来ました。

仕事内容

水産試験場では、主に独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）との共同で春漁期に来遊するカツオの漁場の位置や大きさの予測をしたり、カツオの生態について研究しています。それらを漁業者の方々に情報提供することで、操業の長期計画や燃油等の経費節減に役立てていただきたいと思います。

職場の環境には満足していますね。理解ある上司に恵まれて、自分のやりたい研究をさせてもらっています。研究職は男性ばかりですが、特に違和感なく一緒に仕事をしています。困ることといえば、漁船をチャーターして調査に出る時ぐらいですね。トイレ付きの漁船を持っている漁業者さんにしかお願いできないので（笑）。後は、得をしていることのほうが多いですよ。漁港や現場では、女性の研究員は目立つらしく、すぐに顔を覚えてもらい、よく声をかけられます。

休日の過ごし方

休日は、趣味のドラムで教会のコーラスのバック演奏をしたりして過ごしています。仕事もプライベートも充実した日々を送っています。ワークライフバランスがうまくとれていることが嬉しいですね。

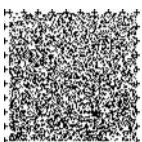
今後の抱負

水産研究の仕事の魅力は、今まで分からなかったことを解明していくことですね。知りたいことを知るために活動することです。研究でお世話になることがまだまだ多い漁業者の方々にお返しできるような、収入アップにつながる結果を出せる仕事をしていきたいです。

今後は、他県の研究者とも協力しあってカツオの生態系について、もっと詳しく研究を進めていきたいと思っています。カツオは赤道域から東北沖までと、広域を泳ぎ回る魚なので、回遊の通過点である和歌山県だけでは解明できることには限界がありますし、他の県も同様です。“個”としてよりも、むしろ“チーム”として、漁業者さんのためになる結果を出していくことが目標です。

水産の研究員を目指している後輩にメッセージ

和歌山県は水産の研究をするにはとてもいい環境が整っています。ぜひ、チャレンジして欲しいです。



プロフィール

2007年4月 和歌山県庁入庁～初の女性航海士
(職務の都合上詳しいプロフィールは割愛させていただきます。)

航海士になった動機

高校卒業後、大学の水産学部に進み、航海士の資格取得を目指すも、極度の船酔いと就職口の少なさに断念。大学卒業後、民間企業に約4年間勤務しましたが、やはり航海士への夢を諦めきれず、大学に編入学し、航海士の免許を取得しました。

女性の航海士は全国的に増えていますが、まだまだ男性社会ですね。船の設備としても、シャワー室やトイレも完備されていない船がほとんどです。しかし、航海士の免許を取ったからには、船に乗りたいと思っていました。そして、数少ない就職口から探した結果、縁あって和歌山県庁に採用となりました。

職場環境

採用されてすぐに漁業取締船(航海士3人、機関士3人)に乗るようになったわけですが、私よりもむしろ周りの方が気を遣ってくださいました。トイレは共用でしたが、船内にカーテンを取り付けて着替える場所をつくるなど配慮していただきました。あと、自分ではできないと判断した危ない力作業は他の人にお願いしました。もし、無理をしすぎて怪我をしたら、周りに迷惑がかかってしまうからです。そのことは周りの人達も十分に理解してくれました。船員6人がお互いに認め合って、気持ちよく仕事ができたとと思います。

仕事内容

採用当初は航海士としての経験がない分、先輩達に教えて貰いながら仕事を進めていきました。操船の技術についても熱心に指導して貰いました。操船は車と同じで自分で舵を持たないと上達しないので、できるだけ多くの機会をつくっていただきました。船酔いはまだ完全には克服できていませんが、責任感や緊張感からか昔ほど酷く船酔いすることはなくなりました。

普段の仕事は、密漁者はもちろん、漁業者や一般人の違反を取り締まるので、かなりの危険が伴います。侵入禁止の海域で違反している船を発見したらマイクで注意したり、汽笛を鳴らしたりして操業を止めさせます。違反者からは罵声を浴びせられることもありましたが、でも、漁業取締船に女性が乗っているのは珍しいみたいで、すんなり聞いてくれることもありました。

今後の抱負

この4月から資源管理課に配属され陸上勤務となりました。初めての事務職なので、ゼロからの出発です。航海士は制服だったので、今は毎日の着る服にも頭を悩ませています。行政のことを学ぶ良い機会だと思っています。今後は、船員側の意見と行政側の意見をうまくまとめ、橋渡しの役割を担っていきたいです。



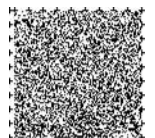
航海士をめざす後輩へのメッセージ

航海士は特殊な職種ですが、周りの理解と協力があれば、決して男性にしかできない仕事ではないと思います。他にはない貴重な経験ができますから、ぜひ頑張ってください。

インタビューを終えて

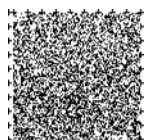
“海が好き”という熱意で夢を実現し、確実にキャリアを積み重ねているお二人。爽やかな潮風の香りを漂わせて、海について語る姿はととも魅力的でした。気負うことなく自然体で仕事に取り組んでいる様子をお聞きして、水産業界に対するイメージがぐっと身近なものとなりました。

海を舞台に航海中のお二人が、今後どのようなキャリアデザインを描いていくのか楽しみにしています。



平成22年度 “りいぶる” 講座・イベントカレンダー

講座・イベント	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行政職員のための男女共同参画実践講座 テーマ：男女共同参画社会の基礎 28日りいぶる 29日田辺市	7/28 7/29								
「わたしのワーク×ライフ再考塾」 テーマ：男女の経済的自立			9/8						
「子どもたちのマンガにひそむもの」 テーマ：メディア・リテラシー	7/24								
「女(わたし)のからだは女(わたし)のもの」(仮題) テーマ：リプロダクティブ・ヘルス/ライツ			9/25						
「DVをなくすために、私たちができること」 テーマ：DV防止啓発			9/18						
「考えてみませんか？災害時における女性の人権」 テーマ：男女共同参画の視点で考える防災			9/4						
「がんばりすぎていませんか？」(仮題) テーマ：ダイバーシティと男女共同参画				10/2					
「その子らしさを大切に！エンジョイ子育て」 テーマ：子育てと男女共同参画				10/7					
チャレンジ支援講座 男女共同参画社会を推進するための人材養成や女性のエンパワーメント・チャレンジを支援。	7/23 7/30	8/6	9/9 9/16 9/30	10/29	11/5				
りいぶるフェスタ2010 男女共同参画社会実現のため、有名講師による大型公開講座等を開催します。					11/13 11/14				
相談員養成講座 新宮市（全15回） 男女共同参画に関する相談に対応できる相談員を養成する講座。							1/9 1/10 1/15 1/16 1/22 1/23	2/5 2/6	
性暴力被害者支援講座 「性犯罪被害にあうということ」 (和歌山市・田辺市・新宮市)			9/11 和歌山	10/30 田辺 10/31 新宮					
DV被害者支援ボランティア養成講座 全4回（海南市）							1/29 1/30		



～「パパ大好き！」と言われたい～

「男性の子育て応援講座」

春も近づいた3月13日（土）、男性に子育ての楽しさを知ってもらうことにより、積極的な育児参加を促し、家庭生活の責任は男女双方が担うべきことや、ワーク・ライフ・バランスについて考えるきっかけづくりにと、パパのための子育て応援講座を開催しました。

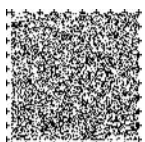
講師には、「笑っている父親」を増やすべく、日本初の父親学校「ファザーリング・スクール」、「子育てパパカ（ぢから）検定」、シングルパパを応援する「フレンチトースト基金」、パパの育児取得を推進する取り組み「さんきゅーパパプロジェクト」…と次々に事業を企画、展開し、日本全国の講演、講座でパパたちにロックな子育てエールをおくっているNPO法人ファザーリング・ジャパン代表の安藤哲也さんをお迎えしました。

当日は、パパはもちろん、ママや祖父母の方、そして子どもたちと45人のみなさんにご参加いただき、また参加者以外の見学や取材もあり、賑やかで温かい“りいぶる”の午後となりました。

講座の前半では、安藤さんから男性の子育ての悩みや課題などを聞きました。最近の新しい傾向のひとつに、「イクメン（育児をする男性）」ブームのため「自分もやらなければいけない」とプレッシャーがかかり、結果「週末育児が苦痛（ブルーフライデー）」になってしまうパパが居るのだそうです。安藤さんは、「育児を楽しんでやっていると、家がアウェーで会社がホームになってしまう」「“良いパパ”ではなく、育児を楽しんで“笑っているパパ”になろう」とアドバイスされています。

そして、「育児アンテナ、ママとの意思疎通アンテナが立っていない圏外パパにならないように」「父親は食料だけ運んでくる補給艦であってはダメ」「子どもができたなら自分のOSを“父親OS”に入れ替え、毎日アップデートしないとフリーズしてシャットダウン（離婚）という事態になる」等々、ご自分の「子育ての極意」を働き盛りの若い父親世代にストレートに響く名語録で伝授してくれました。

また、「やってはいけない夫婦げんかは、無視（口をきかない）とお互いの人格否定（身内非難）」「現代の父親に必要な力のひとつは、ママを支える力。ママを支えるには、余計なことを言わず（アドバイスはしない！←ここが重要ポイント！夫婦検定があったら出るかも？）ただ話を聞くこと」「ママはパパに母親の仕事を市場開放しよう。そして出来映えにはケチをつけないこと」と、子育てのみならず夫婦関係の極意もしっかり教えていただきました。



さらに、「ママにはママの夢があるはず。パパはそれを聞くように努力し、ママの夢を否定しないで、夢をかなえる努力をサポートしてほしい」とも仰いました。

う～む・・・ここまでできれば上級パパ？

ママ、パパ、子どもたちみんなが笑顔で居られればいいですね。



後半は、安藤さんによる絵本の読み聞かせ講座でした。ただ読むだけでなく子どもと会話をしながら進めることや、パパの読み聞かせは費用対効果（情操教育など）を求めずナンセンスでいいこと、また、たくさんの絵本を見よう、そしてその中から有名絵本や推奨でなくとも自分の感性に合った絵本を選ぼうとアドバイスがありました。

ご持参の絵本の1冊『ねえ、どれがいい？』は、必ず答えを選ばなければならないルールの“究極の選択本”。例えば「どれなら食べられる？」の問いに対し、答えの選択肢は「くものシチュー、かたつむりのおだんご、虫のおかゆ…」。

どれもイヤ～！と悲鳴が上がりますが、「必ず答えを選ぶ」のがルールです。となると、さてあなたの選択は・・・？

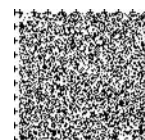
読み聞かせというとシ～んと聞くものというイメージがありますが、子どもたちとワイワイ盛り上がる、こんな絵本もいいですね。（りいびるでも所蔵しています。貸し出しも可）。



安藤さんによると「地方はパパよりおばあちゃん力が強い」とのこと、和歌山も例外ではなくその分パパ力は不足気味に見えますが、御坊市の父親の読み聞かせ会からも講座にご参加をいただき、「活

動を続けていく勇気が湧きました」と心強い感想をいただきました。

和歌山のパパのみなさん、子育ては期間限定、どうぞ笑顔で楽しんでくださいね！



つながる“りいぶる”をめざして

はじめまして！ 特定非営利活動法人和歌山eかんぱにいで。（「eかんぱにい」と呼んでください。）

平成22年4月から、りいぶるの窓口業務・図書関係・各種講座・相談業務などを担当しています。啓発スタッフ6人、相談員5人の11人でセンター勤務をしています。

モットーは、「つながる“りいぶる”をめざして」。知識とのつながり、情報とのつながり、人とのつながりを大切に、エンパワーメントできる場を提供したいと思っています。

「ニーズ+α」、誰にも平等に、おもてなしの心をもって、いつでも誰でもが気軽に立ち寄ることのできる“りいぶる”を、めざします。皆さま、お気軽にお越しください。笑顔でお待ちしています！



青少年・男女共同参画課いんぷおめーしょん

「男女共同参画に関する県民意識調査」にご協力をお願いします。

和歌山県では、「県男女共同参画推進条例」に基づき、「県男女共同参画基本計画」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいるところですが、平成23年度にこの計画を改定することとしています。

この調査は、県民の皆さんの男女共同参画についての意識などについてお聞かせ頂き、基本計画改定の基礎資料とするために実施するものです。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

調査概要

- (1) 調査時期
平成22年7月～8月
- (2) 調査対象
無作為に抽出した、和歌山県にお住まいの20歳以上の男女3,000人
- (2) 調査方法
アンケート調査票を郵送させていただきますので、回答のうえ同封の返信用封筒でご返信ください。

※この調査で得られた結果は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用しません。

問 県庁 青少年・男女共同参画課

TEL : 073 (441) 2510 / FAX:073 (441) 2501

E-mail: e0314001@pref.wakayama.lg.jp



■企画・発行

和歌山県男女共同参画センター
りいぶる

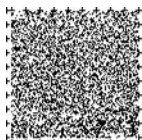
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245・FAX (073) 435-5247

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/index.html>

開館時間 火曜日～土曜日：午前9時～午後9時 日曜日：午前9時～午後5時30分

休館日 毎週月曜日・国民の休日(祝日)・年末年始(12月29日～1月3日)



“りいぶる”では皆さまのご意見、情報をお待ちしています。[メールアドレス]e0315011@pref.wakayama.lg.jpまで